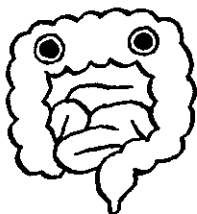


PART

1 便秘を放っておいてはいけない理由



01

約5割の子どもが便秘かもしれない!?

便座に座り続けて数十分。真っ赤な顔をしていきんでも出るのは小指大のうんちだけ……。大人の女性に多いといわれる便秘ですが、実はいま、このような便秘の症状を訴える子どもたちが増えています。

現在、子どもの便秘は小児科、消化器科を受診する人の25%を占めるといわれています。私は大腸の専門医として大腸内視鏡検査を現在までに4万件以上施行し、現在は東京・立川で「便秘外来」を伴うクリニックを開設していますが、この便秘外来にも最近子どもが増えています。便秘症状が続くお子さんを心配して受診されるお母さんが非常に多くなっているのです。

残念ながら日本は便秘に関する専門の病院が非常に少ないことに加え、医師たちにも便秘に関する正しい知識が欠如していることが多いのが現実。ましてや子どももの便秘に関しては、データなどもほとんどありません。

PART 1

便秘を放っておいてはいけない理由

そこで私は、大塚製薬と2013年3月に「全国小学生排便実態と食物繊維摂取に関するWEB調査」を実施しました。母親4039名に対して、小学生5441名の1週間の排便実態を調べたところ、「1週間に7日未満」つまり毎日排便がない子どもが52・6%と半数以上に上ることが分かりました。この結果に、「子どもなら当然毎日排便があるだろう」と予想していた私は衝撃を受けました。

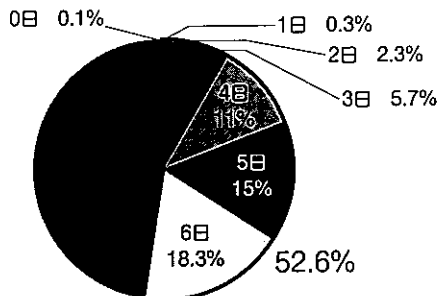
またさらに驚くことに、排便回数が「1週間に7日未満」の親に「調査期間中のお子さんの排便の印象」について質問したところ、55・5%が「順調である」との回答でした。つまり子どもにも毎日排便がなくても、「順調」と思っている親が半数以上ということになります。

「お子様が小学生になってから、便秘について相談されたことがありますか？」という質問に対しては、86・8%が「ない」という回答であり、子どもの排便実態を把握できていないケースが多いと考えられます。

全体の1・8%の子どもが下剤を常用しているという事実もあきらかになりました。

小学生の排便回数

Q あなたのお子様は、この一週間に何日、排便がありましたか？

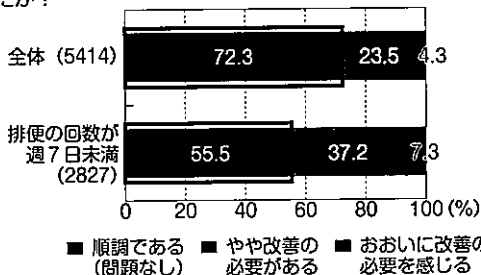


2013年3月「全国小学生の排便実態と食物繊維摂取に関する調査」
方法 小学生母親4309名を対象に子供5441名の実態を聞き取り

1週間のうち毎日排便がない子供が52.6%と半数以上

小学生の排便状況への親の認識

Q この一週間のお子様の排便に関して、どのような印象を持たれましたか？



2013年3月「全国小学生の排便実態と食物繊維摂取に関する調査」
方法 小学生母親4309名を対象に子供5441名の実態を聞き取り

- ・全体で、72.3%が「子どもの排便は順調」と思っている。
- ・排便が週7日未満の子どもの親でも、半数以上は順調だと思っている。